

東大和市狭山緑地等における公民連携事業に係るプレサウンディング
調査の結果について

【調査の概要】

- ・日 時：令和7年10月 8日(水) 午後1時から午後5時まで
令和7年10月10日(金) 午後1時から午後5時まで
- ・場 所：東大和市役所4階 403会議室
- ・調査対象：東大和市立狭山緑地及び市内公園等
- ・事業者：公園等における公民連携の実績がある事業者6者を委託事業者により選定
- ・実施方法：対面でのヒアリング ※1事業者1時間程度

主な項目	事業者からの主な意見
市立狭山緑地及びその他公園等について	・郷土博物館はエリアマネジメントの拠点として、ぜひ活用したい。 ・公園とともに博物館を管理運営するのは珍しいケースであり、新たな分野へのチャレンジとして興味深い。 ・既に市立狭山緑地の維持管理に協力的なボランティア団体がいることは、エリアマネジメントにおいて貴重な存在である。 ・市立狭山緑地単独ではなく、近隣等の複数の公園を包括管理することにより、イベントやアクティビティも連携して実施することが望ましい。 ・駐車場、交通アクセス等の最低限のインフラ整備は必要不可欠である。 ・多摩湖周辺の観光資源や都立公園との連携が実現できるといい。 ・郷土博物館の屋上を活用したBBQはロケーションが良いので、夜間を含めた営業の可能性がある。 ・違法駐車、ごみ、大声等で、近隣の市民の生活に迷惑をかけないようにすることを第一に考える必要がある。
公民連携の進め方について	・市民がイベントを求めているという状況は望ましい。 ・管理運営費に関しては、公民連携を進めることにより必ずしも安価になるとは限らないことを念頭において検討する必要がある。 ・パークPFIだけではなく、指定管理者制度と組み合わせて導入していくことで民間事業者の収益面での課題解決に繋がるのではないかと。 ・公民連携事業の実現に向けて、事業者が収益事業を実施できるよう市の内部でも検討してもらいたい。